



芝を植栽する少年野球チームとボランティアの皆さん

緑のジュータンが見たい

芝の植栽を体験

6月20日、さんぶの森多目的広場の一部（約800㎡）を利用し、広場整備の一環として、広場を練習に使用する少年野球チーム「山武ブリスキーボーイズ」の25人と、その保護者やボランティアグループさんぶ木こり隊総勢55人が参加し、50cm間隔で

掘った穴に芝のポット苗を1株ずつ植えていく植栽体験をしました。

これは、原則として除草や薬剤散布は一切行わず、芝刈り、施肥、灌水が中心の環境に優しく低コストで管理できる芝生化（鳥取方式）を試験的に取り入れたものです。

「芝が生えそろえば、練習時の砂ぼこりや暑さを緩和できるなど色々な面でメリットがあると思います。練習の合間に芝刈りや、水遣りなどをやってみんなで芝を育てたいと思います。早く緑のジュータンが見たいですね。」と少年野球ブリスキーボーイズ代表の佐藤さんは話します。

市内が花でキレイになるといいな

ボランティアの皆さん、いつもありがとう

道端にある花壇。綺麗な花が植えられていることにふと気が付くことはありませんか？ 今回は、松尾出張所前の花壇と本柏の空港シャトルバスのバス停前の花壇に花を植えてくれた「あすなる会」と「本柏千寿会」さんの活動を報告します。

あすなる会はもともとハイキングなどを一緒に行く友達グループ。花壇のボランティアは2001年から始めたそうです。本柏千寿会は本柏のおばあちゃん達のグループです。両方のグループともみんな仲よして働き者ぞろい。花壇の土を耕し、花の配置を決め、手際よくペゴニアやマリーゴールドを植えていました。



▲本柏千寿会の皆さん



◀あすなる会の皆さん

水のなかダ・イ・ス・キ！

さんぶの森元気館でプール遊び



さんぶの森元気館プールから、日向幼稚園園児の元気な声が聞こえてきました。

日向幼稚園とむつみのバタ・バタ・たのしいね おか幼稚園では、元気館の休館日を利用して交互にプール遊びを実施しています。2つの園では、以前プールがあったが維持管理が大変などの理由でプールを閉鎖。しかし、地元で元気館が建設されたので3年前からまたプール遊び始めたとのこと。「プールでの水遊びは、園児が小さいころから水に慣れ親しみ、健康・体力づくりにもよく、地元の施設を有効に活用できて幸せです」と並木園長は話します。

さらなる救助技術の向上を

東消防署特別救助隊関東大会出場



ロープブリッジ救出訓練

東消防署の特別救助隊は、6月29日に開催された消防救助技術千葉県大会（ロープブリッジ救出訓練）で優

勝し、7月14日に神奈川県厚木市で開催された第39回消防救助関東地区指導会に出場しました。

この出場種目は、建物と建物の間に設定されたロープを渡り、反対側にいる負傷者を救出する訓練です。隊員は「この大会を通じて学んだ救助技術を災害現場で活かせるよう、常に市民の目線に立ち安心して暮らせるまちづくりに努みたい」と力強く決意を話します。